

# 「みんなで創る 文化交流都市」の 実現に向けて

## 笠間市長 山口伸樹



明けましておめでとうございます。市民の皆様には、希望にあふれる新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また平素より、市政の各般にわたりまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

今年、新笠間市が誕生して早6年になります。

昨年の2期目のスタートの際に掲げたマニフェスト「躍進宣言」を実現するため、市政運営に全速力で走り続けてまいりましたが、新しい年を迎えるにあたり、その責任の重さに改めて身が引き締まる思いでございます。

新年にあたり、本年の抱負を申し上げます。

### 市民生活向上を目指して

昨年合併5周年という節目の年を迎えた笠間市では、新市の一体感を醸成するために進めてまいりました幹線道路の整備や友部駅前広場が完成するなど、都市基盤の整備を図ることができ、教育の分野では、笠間小学校校舎や岩間中学校屋内運動場の耐震補強・改修工事を行いました。

また、合併5周年記念事業として「NHKのど自慢」の公開放送が行われ、全国に向けて笠間市をPRいたしました。

まちづくりを市民からの視点で進めていくためには市民参加と情報公開が欠かせませんが、昨年は、学校の適正規模・適正配置、支所のあり方、各種団体等に対する補助金など合併後の課

題となつているさまざまな問題の解決を図るため、各種の検討委員会を設け、市民に公開のもと検討をしていただきました。検討委員会の答申を尊重しながら、議員の皆様と議論を深め、今年からの施策に反映をしていきたいと考えております。

また、昨年は国勢調査が行われましたが、中間報告によりますと、平成17年の前回調査と比べ、約2千人の人口が減少してしまいました。今後、定住化促進策を強化し、人口減少に歯止めをかける施策を展開するとともに、観光行政を中心に交流人口の拡大にも取り組んでまいります。

### 重要施策への取り組み

今年、昨年から続く景気の低迷や雇用情勢の悪化などにより、本市を取りまく財政の状況は大変厳しいものになると思われますが、行政改革の断行や行政評価などによる事務事業の見直し、重要施策への予算の重点的配分などを通して、効果的・効率的な行政サービスと健全な行財政運営を図ってまいります。

重点施策としては、昨年に引き続き、少子化対策、農業施策、医療・福祉施策を掲げ、積極的に取り組んでまいります。

少子化対策では、保育料の軽減や子育て支援センター事業、妊婦への助成、ファミリーサポートセンターの設置など子育ての負担軽減を主とした事業を展開してまいりましたが、それに加え、児童館を友部地区に建設し、安心して

子どもを生き育てることのできる環境の整備を進めてまいります。

また、農業施策では、担い手の強化促進、主要農産物の生産振興、ブランド農産品のPR、土づくり運動の推進、グリーンツーリズム活動の推進などを行ってまいります。特に、耕作放棄地の増加は全国的に喫緊の課題となっており、重点的に取り組んでまいります。

医療・福祉施策では、引き続き市立病院での日曜・平日夜間初期救急診療、医師確保対策を推進するとともに、国の施策と連動し、子宮頸がんなどのワクチン接種事業などに取り組み、市民が安心して暮らせる地域社会づくりを進めてまいります。

また、岩間駅周辺整備事業、笠間給食センターの整備、小中学校施設の耐震化、生活に密着した狭あい道路の整備に力を入れてまいります。

本年は、北関東自動車道が、笠間市の合併の記念日である3月19日に全線開通します。これにより、北関東地域の連携強化はもとより、企業誘致の推進、新たな観光施策の促進などに弾みがつくものと大いに期待しております。笠間市をしっかりとPRしながら、職員一丸となって「みんなで創る文化交流都市」の実現に向けて、市民の皆様と一緒に取り組んでまいりますので一層のご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、今年1年の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます、新年のあいさついたします。